



登録団体活動紹介

なとりハワイアン・フラ

フラとの出会い

「なとりハワイアン・フラ」は、閑上にあった働く婦人の家で2003年にサークルとして発足しました。もともとハワイアン・ミュージックが大好きだった現在代表を務める黒田輝子さんは、アロハの心に感銘し入会しました。

アロハの心とは、「優しさ・調和・喜び・謙虚・忍耐」の意味がALOHHAの頭文字に込められています。講師の伊勢美保子先生は、年に数回ハワイへ行きアロハの心を学んでおり、横浜から指導に来てくれています。

団体の活動としては、2004年から骨髄バンク登録推進運動「命のつどい」ふれあいコンサートに出演したり、介護施設やがんセンターを訪問したりと、サークル活動の枠を超えたものになっていきました。

3.11 あの日から

東日本大震災当日は、働く婦人の家でレッスン中でした。あまりにも激しい揺れに黒田さんは、身の危険を感じ会場を後にします。崩れる建物や、液状化した道路を避けなんとか自宅に辿り着くことが出来ました。一方、土地勘のない伊勢先生は、名取市でひとり避難所を転々とし、やっとの思いで横浜の自宅に戻れたのは、発災から10日以上経ってからでした。

そんな被災体験をした伊勢先生が、活動の再開を躊躇していた黒田さんに「震災に負けないで頑



閑上の働く婦人の家まつり発表会

張って、活動を再開しましょう」と声を掛けます。練習場所を紹介してくれた施設の方々にも背中を押され、震災後3か月で活動を再開することができました。

そして積極的に仮設住宅を訪問し、フラを見てもらうだけでなく、歌詞の意味を伝え一緒に手振りでも踊ってもらいました。すると皆さんの顔がとても明るくなり、ハワイの音楽が安定剤のように心に染みていくのが感じられ、自分達の活動が皆さんの心の助けになっているのだと実感することができました。

震災から7年が経ち、仮設住宅への慰問はなくなりました。今は介護施設への訪問が主となりましたが、フラを踊りに来て欲しいと言ってくれる人がいる限り訪問活動を続け、アロハの心を伝えていきたいと黒田さんは語ります。

問合せ なとりハワイアン・フラ
〒981-1235
名取市名取が丘1丁目4-16
TEL 090-5359-2619 (代表 黒田)